

小谷コレクション

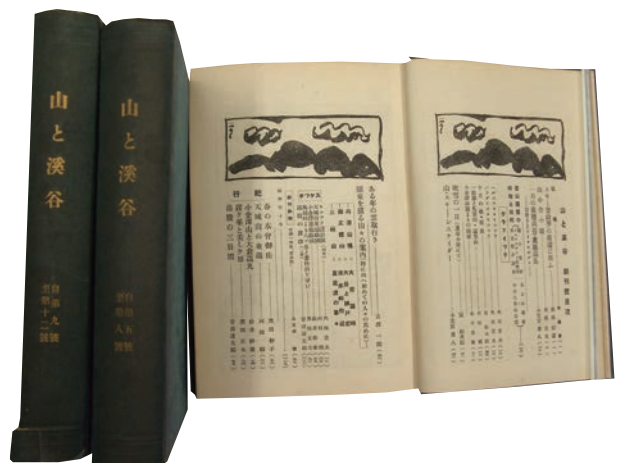
雑誌

コレクションには書籍以外にも、貴重な山岳雑誌が多く収められている。本コーナーでは、日本の近代登山における活動の中心であった日本山岳会の機関誌『山岳』、登山の普及と啓蒙に大きな役割を果たした山岳総合雑誌『山と溪谷』、大学・旧制高校山岳部の雑誌として、小谷隆一氏も所属していた旧制松本高校山岳部の雑誌『草鞋』（わらぢ）を紹介する。



51 山岳 日本山岳会発行 明治39年(1906)―

山岳に関する科学・文学・芸術、その他いっさいを研究するという主旨で創立された日本山岳会の機関誌。日本アルプス探検時代から現代のヒマラヤ遠征にいたるまでの登山家の足跡が刻まれており、日本の近代登山史を知る上で、欠かすことのできない貴重な文献。小島烏水・木暮理太郎・田部重治などの名著を生む母胎ともなった。



52 山と溪谷 山と溪谷社発行 昭和5年(1930)―

田部重治の著作名を誌名として、川崎吉蔵により創刊。登山の普及と啓蒙に大きな役割を果たした、山岳総合雑誌。岩壁・雪山などの尖鋭登山から低山趣味まで包括する方針で編集が行われ、論説・研究・紀行・随想・技術・装備・案内・動植物・科学・民俗など様々な記事が紙面を飾った。宇野浩二・斉藤茂吉・新田次郎なども健筆を奮った。



53 草鞋(わらぢ) 旧制松本高等学校山岳部発行 大正10年(1921)―昭和21年(1946)

旧制松本高等学校山岳部の機関誌。コレクション所蔵は創刊号(1921)～4号(1922)と、復刊1号(1923)～7号(1946)。近代アルピニズムの聖地、北アルプスに抱かれた松本高校山岳部の部員たちの山々の縦走や冬山、岩壁の登攀に情熱を燃やし、遭難の悲劇に直面しながらも、なお止まぬ山への思いに満ち溢れている。